

# 「デフレ」主役はIT

2010年から11年 費者物価指数」年報か 「デフレ」とは「継続的 総合値は前年比で、09 において、消費者物価 ら分かります。 な物価下落」を指しま 年に1.4%減、10年に は高校授業料です。10 指数を押し下げたの 政府の定義によると す。消費者物価指数の 0.7%減、11年に0 年比で94.1%も下落

は、テレビやパソコン などIT関連商品でし た。総務省発表の「消

## 「品質調整」が見かけの値下げ演出

### 一方で必需品値上げも

・3%減と3年連続で 下落しました。どうい った品目が下落をけん 引したのか、品目ごと の下落率を見ました。 もっとも下落したの は高校授業料です。10 年比で94.1%も下落 しました。これは政府 の高校授業料無償化の 影響です。2位以降は ビデオレコーダーやデ スクトップ型パソコン、テレビ、カメラな どIT関連やハイテク 機器、家電などが並び ます。

機械の進歩により見 かけ上の「物価指数」 が引き下げられる一方 で、値上がりした品目 では灯油やガソリンな ど生活に欠かせないも のや食料品なども目立 ちます。

8日の第1回日本経 済再生本部の会合後、 安倍晋三首相は「10年 以上の脱却、これへの取 り組みは、人類史上、 劇的な取り組みであろ うと思います」と、「デ フレ」脱却に向けた決 意を表明しました。

具体的には、「物価 目標」を設定して、金 融緩和を行うつもりで す。しかし、電化製品 の見かけの「値下げ」 を補うだけの値上げが 生活必需品などで行わ れるならば、庶民の生 活はいよいよ苦しくな ります。

(清水渡)

### 消費者物価指数上昇・下落20品目

	値下がり品目	率	値上がり品目	率
1	公立高校授業料	-94.1	いよかん	29.0
2	ビデオレコーダー	-40.0	たばこ(国産品)	26.8
3	デスクトップ型パソコン	-39.9	たばこ	26.2
4	テレビ	-30.9	たばこ(輸入品)	25.4
5	カメラ	-28.0	灯油	18.4
6	電気洗濯機(洗濯乾燥機)	-27.5	パック旅行	15.8
7	家庭用ゲーム機(携帯型)	-26.2	外国パック旅行	15.8
8	電気冷蔵庫	-25.9	ほたて貝	14.8
9	ビデオカメラ	-25.8	うなぎかば焼き	10.8
10	ノート型パソコン	-24.0	たこ	10.7
11	電気掃除機	-19.5	さといも	9.6
12	電子レンジ	-18.6	ガソリン	9.6
13	電気洗濯機(全自動洗濯機)	-17.5	自動車保険料(自賠責)	9.1
14	ヘルスマーター	-14.8	傷害保険料	8.6
15	かき(果物)	-13.9	ごぼう	8.5
16	カーナビゲーション	-13.6	航空運賃	8.1
17	電気炊飯器	-13.5	婦人コート	7.9
18	なし	-13.4	背広服(夏物, 中級品)	7.8
19	キャベツ	-12.7	かき(貝)	7.2
20	りんご(8月~10月)	-12.7	生理用ナプキン	6.9



店頭で商品を選ぶ買い物客＝東京都内

「品質調整」という作業が 行われているからで す。消費者物価指数は 純粋な物価変動の測定 が目的なので、同一商 品の価格推移を追跡す ることが原則です。し かし、品質改良された 後継商品が出され、追 跡してきた商品が製造 中止になるなどの場合 には、調査対象を入れ 替える必要があります。 その際の品質や容 量の違いが指数に入り 込まないようにするた めに行うのが、「品質 調整」です。

とりわけパソコンや カメラなど製品サイク ルが短い商品は、新モ